

【主担当部局：医療保健部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

医薬品や医療機器などの品質管理体制の整備により医薬品等の安全が確保されるとともに、生活衛生営業施設等の衛生が確保され、安全なサービスや製品が提供されています。

また、さまざまな主体と連携し地域全体で取り組むことで、動物の殺処分がなくなるとともに、薬物が容易に入手できない環境が整備されています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
やむを得ず殺処分を行った犬・猫の数		69匹		46匹		0匹
	97匹					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	保健所に収容した犬・猫のうち、やむを得ず殺処分を行った犬・猫の数（治癒の見込みがない病気などの理由により殺処分した数を除く）					
3年度目標値の考え方	令和5年度までに殺処分数がなくなるとをめざし、段階的に減少するよう令和3年度の目標値を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県内の医薬品等製造施設のうち不良医薬品等を出さなかった施設の割合		100%		100%		100%
	99.4%					
献血を行った10代の人数		2,400人		2,400人		2,400人
	2,077人					
薬物乱用防止に関する知識と理解を深めた県内学校の児童生徒等の人数		55,950人		56,600人		58,000人
	59,680人					
健康被害が発生しなかった生活衛生営業施設の割合		100%		100%		100%
	100%					

## 現状と課題

- ①「令和2年度医薬品・医療機器等一斉監視指導要領」に基づき、医薬品製造業者や販売業者等に対する監視指導や医薬品等の検査を実施しています。また、数量シェアが拡大している後発医薬品については、製造施設の監視指導や製品検査を実施するとともに、適正使用を推進する会議を開催し、関係団体との情報共有を行っています。医薬品等の安全確保のため、今後も引き続き、医薬品製造業者等の監視指導や製品検査を行う必要があります。
- ②薬剤師・薬局の在宅医療への参画を促進するため、訪問薬剤管理指導等に取り組む薬剤師・薬局等への研修会を開催しています。薬剤師・薬局は地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を担っていることから、今後も引き続き、在宅医療への薬剤師・薬局の参画に係る取組や薬剤師の確保を進める必要があります。
- ③若年層の献血意識の向上を図るため、血液センター等と連携し、県内の高等学校に対する献血セミナーを開催するとともに、ヤングミドナサポーターに委嘱した高校生や三重県学生献血推進連盟「みえっち」の大学生等と連携し、献血啓発（献血ページェント）を実施しています。また、若年層に対する献血機会の確保にも努めており、高校への献血バスの導入を進めています。将来にわたり献血協力者を確保するため、引き続き、若年層に対する献血啓発に取り組む必要があります。
- ④「第2次三重県動物愛護管理推進計画」に基づき、（公社）三重県獣医師会やボランティア団体等と連携し、譲渡事業や動物愛護教室による普及啓発活動、災害時の動物救護に係る体制整備等を行っています。加えて、平成29年度に開所した三重県動物愛護推進センター「あすまいる」を動物愛護管理の拠点とし、飼い主のいない猫の減少を図るため、クラウドファンディング等を活用した不妊・去勢手術を実施しています。今後も関係団体等と連携し、殺処分ゼロに向けた取組等を推進する必要があります。「第3次三重県動物愛護管理推進計画」については、今年度中の策定に向け取り組んでいます。
- ⑤「令和2年度三重県薬物乱用対策推進計画」に基づき、警察本部、教育委員会等の関係機関と連携し、薬物乱用防止に関する啓発、立入検査、再乱用防止に取り組んでいます。引き続き、関係機関と連携し、大麻等の薬物乱用防止対策に取り組む必要があります。
- ⑥生活衛生営業施設等に対する監視指導や、営業者に対する衛生管理講習会等を行っています。施設における衛生確保を図るため、引き続き、監視指導等に取り組む必要があります。

## 令和3年度の取組方向

- ①医薬品等の安全確保のため、医薬品製造業者等の監視指導や製品検査を実施し、製造業者等の品質管理に関する技能の向上を図るとともに、医薬品等を使用する側の県民の皆さんに対して医薬品の副作用等に関する正しい知識の啓発に取り組みます。また、後発医薬品の製造施設の監視や製品検査に取り組むとともに、関係団体と連携し、後発医薬品の適正使用の推進に取り組みます。
- ②在宅医療への参画や多職種との連携等に取り組む薬剤師・薬局を支援するとともに、女性薬剤師の復職支援等、薬剤師の確保を進めます。
- ③将来的に安定して血液を供給するためには、若年層の協力が必要不可欠であることから、高等学校における献血セミナーの開催や高校生、大学生等の献血ボランティアとの連携を推進するとともに、献血セミナーの受講者等が実際に献血者に結び付く取組の充実を図ります。
- ④新たに策定する「第3次三重県動物愛護管理推進計画」に基づき、引き続き「あすまいる」を拠点とし、関係団体等さまざまな主体との協創により、殺処分ゼロに向けた取組を進めるとともに、終生飼養等の普及啓発や災害時における同行避難等危機管理対応の取組を進めます。

- ⑤薬物乱用防止対策の推進は、関係機関が連携して取組を進めていくことが重要であることから、引き続き、「三重県薬物乱用対策推進本部」等を活用し、計画的な啓発、取締りや再乱用防止等を実施することにより、大麻等の薬物乱用防止に取り組めます。
- ⑥生活衛生営業施設等における衛生確保を図るため、施設の監視指導等を行うとともに、県生活衛生営業指導センターと連携して自主的な衛生管理の推進を図ります。

## 主な事業

- ①薬事審査指導費【基本事業名：14401 医薬品等の安全な製造・供給の確保】  
予算額：(R2) 13,977千円 → (R3) 18,171千円  
事業概要：医薬品等の品質、有効性および安全性を確保するための監視等を行うとともに、県民に対して医薬品等の正しい知識を提供し、適正使用の推進に取り組めます。
- ②薬事経済調査費【基本事業名：14401 医薬品等の安全な製造・供給の確保】  
予算額：(R2) 15,916千円 → (R3) 15,916千円  
事業概要：医薬品、医療機器等の安定供給と、適切な価格設定等に貢献するため、薬価調査、医薬品需給状況調査を実施するとともに、後発医薬品の品質確保や適正使用の推進に取り組めます。また、患者本位の医薬分業の実現に向け、患者のための「かかりつけ薬剤師・薬局」の推進等の事業を実施します。
- ③薬局機能強化事業【基本事業名：14401 医薬品等の安全な製造・供給の確保】  
予算額：(R2) 7,500千円 → (R3) 9,678千円  
事業概要：「かかりつけ薬剤師・薬局」を推進するため、在宅医療への参画や多職種との連携等に取り組む薬剤師・薬局を支援します。また、女性薬剤師の復職支援や、中・高校生への啓発等の薬剤師への魅力を高める取組により、薬剤師の確保を図ります。
- ④血液事業推進費【基本事業名：14401 医薬品等の安全な製造・供給の確保】  
予算額：(R2) 2,604千円 → (R3) 2,521千円  
事業概要：将来的に安定して血液を供給するためには、若年層の協力が必要不可欠であることから、高等学校における献血セミナーの開催や高校生、大学生等の献血ボランティアとの連携を推進するとともに、献血セミナーの受講者等が実際に献血者に結びつく取組の充実を図ります。また、医療機関における血液製剤使用の適正化を図ります。
- ⑤動物愛護管理推進事業【基本事業名：14402 人と動物との共生環境づくり】  
予算額：(R2) 133,183千円 → (R3) 129,901千円  
事業概要：新たに策定する「第3次三重県動物愛護管理推進計画」に基づき、引き続き「あすまいる」を動物愛護管理の拠点として、関係団体等と連携した動物愛護週間行事等の普及啓発活動等に取り組むとともに、クラウドファンディングを活用した飼い主のいない猫の不妊・去勢手術、犬・猫の譲渡等の殺処分ゼロに向けた取組等を推進します。
- ⑥薬物乱用防止対策事業【基本事業名：14403 薬物乱用防止対策の推進】  
予算額：(R2) 9,638千円 → (R3) 8,975千円  
事業概要：警察本部等の関係機関と連携し、若年層を対象とした薬物乱用防止教室等による啓発活動、違法薬物等の取締りや薬物依存症者等に対する回復支援を中心とした再乱用防止に取り組めます。

⑦生活衛生関係営業指導費【基本事業名：14404 生活衛生営業施設等の衛生確保】

予算額：(R2) 27,607千円 → (R3) 30,190千円

事業概要：生活衛生営業施設等の監視指導や講習会等を行います。また、県生活衛生指導センターと連携し、生活衛生営業施設等における自主的な衛生管理の推進を図ります。